

山北小学校  
山北小学校  
山北小学校

# 山北っ子

R2.3.5  
第11号  
文責 湖上 佳宏

スマートフォン  
等で学校HPから  
閲覧することも  
できます。

## 新型コロナウイルスへの対応等について

皆様もご承知のとおり、日本国内外で新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される状況を受け、全国の小・中・高校において、臨時休業を行うよう国から要請がありました。

玉東町の小中学校は、他の市町より一週間遅く実施する予定でしたが、有明保健所管内で新たな感染者が確認されたため、急遽六日（金）から臨時休業とすることになりました。

しかし、四日間の通常授業のおかげで、一年間の学習のまとめや卒業式の準備等ができて、町行政やご家庭でも、子供たちの居場所作りの準備ができたのではないかと思います。

なお、今後の対応については、別途プリントを配付しましたので、そちらを十分確認していただきますようお願いいたします。また、必要な連絡等は、今後も安心・安全メールを用いてお知らせして参ります。おつて、学校ホームページも随時更新し、最新情報を掲載して参りますので、こちらもご参照ください。

## SNSやオンラインゲームについて

先日、「玉東町児童生徒情報機器等の使用に関するアンケートの集計結果について」の報告のプリントが、各家庭に配布されたことと思ひます。その結果を見ると、

● 約六割の児童生徒がフィ  
ルタリングされていない

（野放し）環境

● 年齢が上がるほど、家庭  
内で使用ルールを「守られ

ていない」「決めていない」状況

などの問題点が明らかになりました。

インターネット（以下「ネット」）をめぐつては、不適切なサイトへのアクセス、SNS

を使ったいじめやトラブルなどの問題に加え、オンラインゲームや動画配信サイトの閲覧を

長時間することで、学業や仕事、健康面への悪影響も心配されています。いわゆる「ネット依存」「ゲーム障害」と呼ばれる問題です。

本アンケートでも、八割弱の児童生徒に何らかの影響が出ている結果となっています。

ただし、この問題はネットの利用やゲームの使用を制限するだけで解決する問題ではないと私（校長）は思っています。むしろソサイエティ5.0を見すえ、子供たちのネット

活用のスキルは磨いていく必要さえあります。ネット依存やゲーム障害に陥る児童生徒の

多くは、日常生活で自己有用感や充足感が得られていない背景があります。逆に言えば、

「ゆめや思いやりを持ち、自分らしく元気に頑張る子ども（学校教育目標から）」であれば、

ネットやゲームを息抜きや気分転換ですることとはあっても、「依存症」や「障害」にまで陥

ることはありません。つまり、子供たちが「自

分の人生をどう生きようと考えているのか」

が重要だと思ひます。そういった意味でも、

本校が進めようとしているキャリア教育



を中心据えたカリキュラムマネジメントは、重要になってくると考えています。

臨時休業期間中、子供たちがネットやゲームとの付き合い方を考え、見直す機会になればいいなと思ひます。保護者の皆様のご協力をお願ひします。

## 白木宮相撲に参加しました

二月十九日（水）、山北八幡宮春祭り奉納相撲（白木宮相撲）に五・六年生が参加しました。今年も天気も良く、境内の土俵で相撲をとることができました。

子供たちがしつかり頑張ってくれたので、参

拜に来られた地域の皆様をたくさん笑顔にすることができました。

地域の伝統文化を守る一端を担ったことに、子供たちは誇りをもって

ほしいと思ひました。



◎ これまででは子供たちが直接学校に持参し、担任に手渡していた学級費（教材費、見学旅行のバス代、修学旅行費の積立等）を、次年度から「ゆうちよ銀行」の通帳引落しのシステムに変更する準備を進めています。現金を扱うトラブルの防止や教職員の働き方改革の目的で、すでに木葉小をはじめ多くの学校で導入されている方法です。手続き等の詳細は、修了式の日までに紙面でお知らせしますので、ご理解・ご協力をお願いします。